



総額 **273億8,531万9千円**

【目的別経費】

議会費	1億1,252万8千円	(0.4%)
総務費	11億8,935万1千円	(4.3%)
民生費	73億3,455万2千円	(26.8%)
衛生費	120億3,738万5千円	(44.0%)
労働費	150万円	(0.0%)
農林水産業費	9億8,802万7千円	(3.6%)
商工費	1億5,667万2千円	(0.6%)
土木費	9億9,945万7千円	(3.6%)
教育費	3億9,023万2千円	(1.4%)
災害復旧費	11億3,882万6千円	(4.2%)
公債費	21億3,477万円	(7.8%)
	9億201万9千円	(3.3%)

議会費…町議会の運営経費/総務費…全体的な管理のための経費/民生費…子育て支援、福祉、医療給付などの経費/衛生費…疾病予防や健康増進、環境保全などの経費/労働費…雇用対策や勤労者福祉などの経費/農林水産業費…農業・林業の振興などの経費/商工費…商工業の振興、観光事業などの経費/土木費…公園・道路整備などの経費/消防費…消防業務などの経費/教育費…学校教育、生涯学習などの経費/災害復旧費…自然災害の復旧工事などの経費/公債費…町の借金返済のための経費

【性質別経費】

子ども(児童)手当、医療扶助、高齢者扶助、避難所食品給与費など	22億3,632万2千円	(8.2%)	扶助費	義務的経費(19.4%)
町職員給与、町議会議員報酬など	21億7,599万5千円	(7.9%)		
事業を行うために借り入れたお金の返済金	9億201万9千円	(3.3%)		
災害により損壊した道路や公共的施設の復旧に要したお金	22億457万5千円	(8.1%)	災害復旧事業費	投資的経費(9.9%)
道路の整備、公共施設などの建設に要したお金	5億29万7千円	(1.8%)	普通建設事業費	
消耗品費、臨時職員の賃金、業務委託料、公費解体費など	91億8,566万円	(33.5%)	物件費	その他の経費(70.7%)
一部事務組合などへの補助金、自費解体補助金、災害派遣職員人件費負担金など	78億5,811万8千円	(28.7%)	補助費等	
各特別会計へ繰り出したお金	20億1,196万8千円	(7.3%)	緑出金	
預金利子や町が融資した貸付金など	1億9,150万円	(0.7%)	投資及び出資金、貸付金	
公共施設の維持や修繕などに要したお金	9,994万9千円	(0.4%)	維持補修費	
各基金へ積み立てたお金	1,891万6千円	(0.1%)	積立金	

※端数処理により、合計額が

歳出の概要

増加額の主なものは、町債の64億940万円(684.9%)、国庫支出金の60億4447万1千円(423.1%)、県支出金の27億9278万2千円(342.8%)となっています。

熊本地震に伴う被災者支援事業費および災害復旧事業などを中心に大幅な増加となっています。

性質別の経費を見ると、構成比で最も大きいのが物件費の91億8566万円(33.5%)、次いで補助費等が78億5811万8千円(28.7%)となっており、合わせて全体の約6割を占めています。

各経費を前年度と比較すると、増加が大きいものは、物件費79億4904万3千円(642.8%)、補助費等59億4474万円(310.7%)、扶助費5億9240万1千円(36.0%)などで、減少したものは、普通建設事業費△7億2574万6千円(△59.2%)および維持補修費△4477万円(△30.8%)となっています。

また、目的別経費の構成では、衛生費が120億3738万5千円(44.0%)と最も多く、次いで民生費73億3455万2千円(26.8%)、災害復旧費21億3477万円(7.8%)となっています。

前年度と比較すると、増加の大きいものは、衛生費109億9694万7千円(↑057.0%)、民生費34億7316万6千円(89.9%)、災害復旧費21億3477万円(皆増)などで、減少の大きなものは、土木費△3億2861万3千円(△24.7%)、教育費△2億203万3千円(△15.1%)などとなっています。

(次ページへ続く)